



# ジャパン・ロボティクス株式ファンド (1年決算型)/(年2回決算型)



## ジャパン・ロボティクスの成長機会と 組入銘柄のご紹介

「ジャパン・ロボティクス株式ファンド(1年決算型)」は、「Morningstar Award “Fund of the Year 2017”」の「国内株式大型 部門」において「優秀ファンド賞」を受賞しました。

### 設定来のパフォーマンスと純資産総額の推移

- 当ファンドは設定来、市場を上回るパフォーマンスを挙げており、堅調な資金流入が継続しています。足元の世界の株式市場は、投資家心理の悪化などから変動性が高い状況となっています。しかし、日本のロボティクス関連市場は引き続き有望であり、中長期的な成長が期待できる分野です。本資料ではジャパン・ロボティクスの成長性や、組入銘柄などについて改めてご紹介いたします。

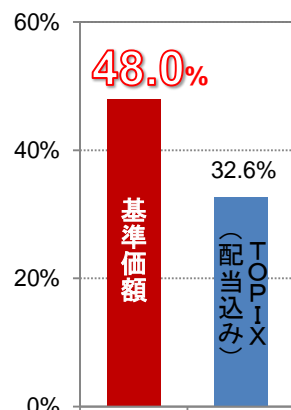
【設定来の基準価額と純資産総額の推移】

(2016年1月29日(設定日)～2018年2月28日)



【設定来の騰落率比較】

(2016年1月28日(設定日前日)～2018年2月28日)



※ 上記の基準価額は「1年決算型」のものであります。

※ 上記指数は当ファンドのベンチマークではありません。

「1年決算型」  
「年2回決算型」  
純資産総額合計

**1,158.39 億円**

「1年決算型」基準価額

**14,797 円**

「年2回決算型」基準価額  
(税引前分配金再投資ベース)

**14,780 円**

(2018年2月28日現在)

※ 上記の基準価額は信託報酬(後述の「手数料等の概要」参照)控除後の1万口当たりの値です。

※ 税引前分配金再投資ベースとは、税引前分配金を再投資したもとして計算した理論上のものであることにご留意ください。

信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成

※上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

当資料は、投資者の皆様へ「ジャパン・ロボティクス株式ファンド(1年決算型)/(年2回決算型)」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

## 当ファンドが考える、ジャパン・ロボティクスの成長機会



- 労働力不足や賃金上昇、医療・介護などの問題が世界規模で拡大する中、ロボティクス技術を活用した課題解決のニーズは巨大かつ長期的なものになるとみられます。そうした中、日本のロボティクス関連企業には、国内外での大きな成長機会があると考えられます。

### 「外需系」成長機会

## 世界をリードする 日本の高い技術力

世界的な自動化・省力化や  
高付加価値化への需要拡大が、  
圧倒的な競争力を持つ  
日本企業の追い風に

<世界で高い競争力を持つ業種の例>



センサー、モーターなどの電子部品



産業用ロボット

自動運転車関連

<国内の課題解決などが成長機会となる業種の例>



医療・介護関連



インフラ点検・防犯



フィンテック関連



人材サービス関連

### 「内需系」成長機会

## 課題先進国が 抱える巨大需要

深刻な高齢化やインフラの老朽化  
といった社会問題に対し、  
日本企業はロボティクスを活用した  
課題解決の先駆者に

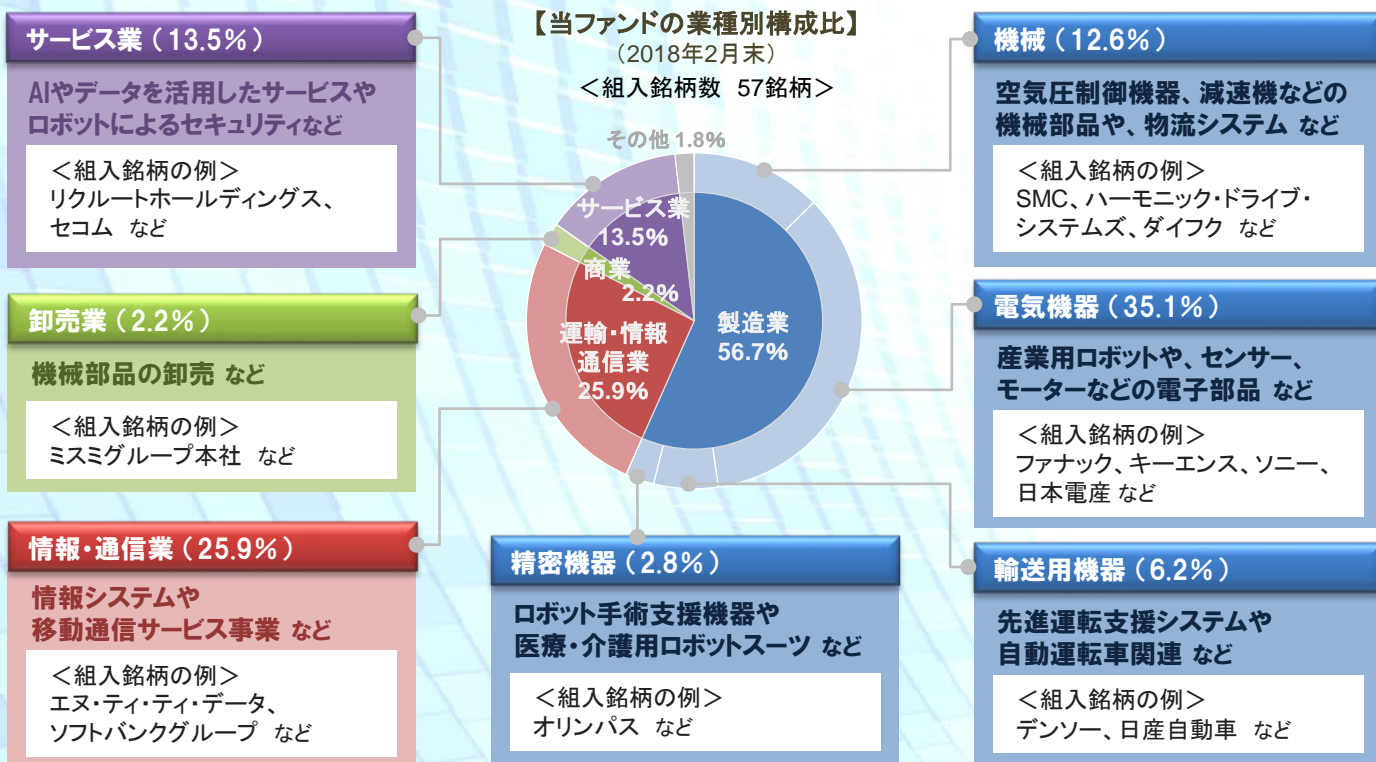
※写真およびイラストはイメージです。

当ファンドは市場環境に応じて、外需系および内需系企業の  
バランスを考慮し、幅広く成長機会を捉えることをめざします



## 内外の需要を取り込み、今後の成長が期待される銘柄を選別

- 高い競争力を持つ日本のロボティクス関連企業は、内外の巨大需要を取り込み、さまざまな分野で恩恵を受ると見込まれます。当ファンドは、運用チームのリサーチ力を活かし、こうした銘柄に幅広く投資を行います。



※上記はマザーファンドの状況であり、比率は純資産総額比です。四捨五入の関係で合計が100%とならない場合があります。  
※業種名は東証33業種分類に基づいており、内側が大分類、外側が中分類を表しています。

### (ご参考) 自動運転車に用いられる技術の例

- 早期の実現が期待される自動運転車においても、日本企業の技術力が求められる領域は多く、新たな需要拡大につながる事が期待されます。

#### セキュリティ

サイバー攻撃に対抗する防御システム。ネットワークへのアクセスが必要なため、不可欠な要素となる

#### センサー

自動運転車の目となる部分、超音波やレーダー(電波)センサー、イメージセンサーなどがあり、車1台あたりの搭載数は数十に上る



※写真はイメージです。

#### ダイナミックマップ

高精度3次元地図に渋滞などの位置情報を合わせた自動運転用デジタル地図

#### モーター

走る・曲がる・止まるの全てに携わる、車の電動化の基幹部品。自動運転技術の進展で一層の電子制御化が進めば、モーターの活躍する領域も更なる拡大が見込まれる

上記＜組入銘柄の例＞は、情報提供を目的として、請求目論見書で開示している2017年7月末時点の当ファンドのマザーファンドの組入上位銘柄から選出したものです。上記銘柄について、組入れを約束するものでも、売買を推奨するものでもありません。また、上記は過去のものであり、記載銘柄の将来の価格の上昇や、運用成果などを約束するものではありません。

過去の組入上位銘柄のご紹介

※写真およびイラストはイメージです。

# ダイフク

業種：機械 時価総額：約8,938億円

## 【株価\*とEPS\*\*（1株当たり利益）の推移】



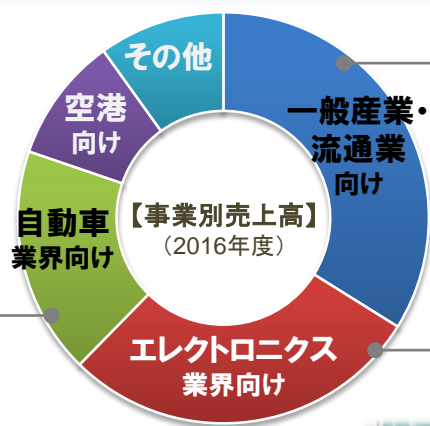
1937年の創業以来、工場や倉庫内でモノを動かす“マテリアルハンドリング”に携わり、業界で最大規模の売上を誇るグローバル企業に成長。

分野ごとに特化した開発を行ない、保管・搬送・仕分け・情報システムなどの多様な要素を組合わせた最適なソリューションを提供。稼働率向上・コスト削減などの課題解決により、顧客の競争力向上をサポート。



## 世界に誇る、ダイフクの技術と実績

- 同社は日本で培った高度な物流技術を武器に積極的な海外展開を行っており、世界で幅広い実績を挙げています。



自動倉庫や搬送システムなどの物流ソリューションを顧客ごとに最適化して提供。近年は医療や選果など、新たな分野にも積極的に進出。

半導体などのクリーンルーム用搬送・保管システム。高度な技術を要することから高い世界シェアを誇り、北米やアジアなどで多くの実績を持つ。



世界の自動車メーカーに、生産ラインの全域にわたる自動化・省人化システムを供給

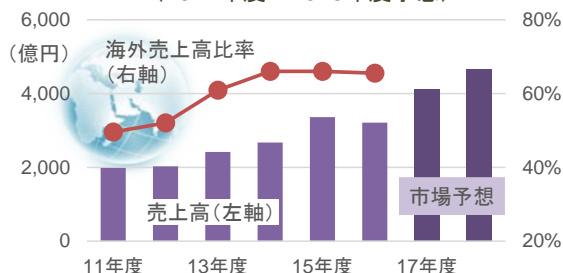


## 旺盛な世界需要が成長を後押し



- eコマースや半導体市場の成長で急拡大した物流設備需要が、同社の成長を支えると思われます。

## 【売上高および海外売上高比率の推移】 (2011年度～2018年度予想)



同社IR資料や信頼できると判断したデータなどをもとに日興アセットマネジメントが作成

※時価総額は2018年2月末時点

上記は、情報提供を目的として、請求目論見書で開示している2017年7月末時点の当ファンドのマザーファンドの組入上位銘柄について、日興アセットマネジメントがまとめたものです。上記銘柄について、組入れを約束するものでも、売買を推奨するものでもありません。また、上記は過去のものおよび予想であり、記載銘柄の将来の価格の上昇や、運用成果などを約束するものではありません。

当資料は、投資者の皆様へ「ジャパン・ロボティクス株式ファンド(1年決算型)/(年2回決算型)」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。



過去の組入上位銘柄のご紹介

※写真およびイラストはイメージです。

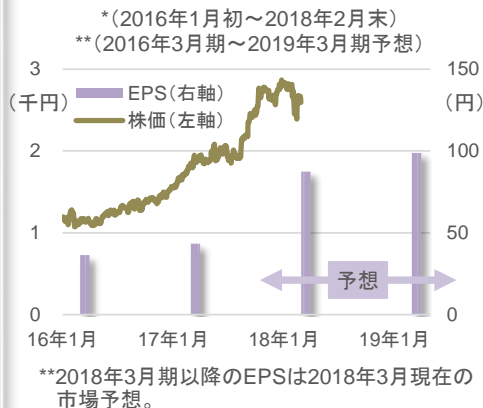


# リクルート ホールディングス

業種: サービス業 時価総額: 約4.3兆円

国内外の人材募集や販促メディアなどを手掛け、展開する情報サービスは、飲食、美容、旅行、住宅など多岐にわたる。ウェブサービスなどから得たビッグデータを分析・活用することで、サービスの価値の最大化や進化をめざす。

## 【株価\*とEPS\*\* (1株当たり利益)の推移】



## 総合人材サービスのトップをめざし、AI研究を推進

- 同社は米スタンフォード大学をはじめ、著名な研究機関と協業するなど、早くからAI研究に携わってきました。2015年にはAI研究所を設立し、人材ビジネスにおけるAIやIoT(モノのインターネット化)の活用について研究を進めています。

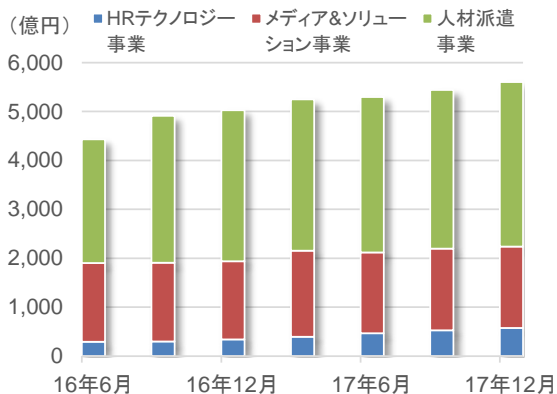


## 人材関連市場が活況を呈する中、テクノロジーの力で差別化を図る

- 同社は2017年10-12月期も好調を維持し、3つの事業セグメント全てで増収増益を達成しています。

### 【セグメント別売上収益の推移】

(2016年4-6月期～2017年10-12月期)



### HRテクノロジー事業

世界最大規模の求人サイトを展開。AI分析で高精度の検索結果を出せることが強み。テクノロジーとデータの活用により、人事関連業務の効率化を推進。

### メディア&ソリューション事業

テクノロジーを積極的に活用し、多くの領域で国内のリーディングポジションを獲得。中小企業の生産性向上に資するサービスに注力し、AIを用いたコンサルティングツールを今春より提供。



同社IR資料や信頼できると判断したデータなどをもとに日興アセットマネジメントが作成

※時価総額は2018年2月末時点

上記は、情報提供を目的として、請求目論見書で開示している2017年7月末時点の当ファンドのマザーファンドの組入上位銘柄について、日興アセットマネジメントがまとめたものです。上記銘柄について、組入れを約束するものでも、売買を推奨するものでもありません。また、上記は過去のものおよび予想であり、記載銘柄の将来の価格の上昇や、運用成果などを約束するものではありません。

当資料は、投資者の皆様へ「ジャパン・ロボティクス株式ファンド(1年決算型)/(年2回決算型)」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

過去の組入上位銘柄のご紹介

※写真およびイラストはイメージです。



## 日本電産

業種: 電気機器 時価総額: 約5.1兆円

世界市場で圧倒的なシェアを誇るモーターメーカー。  
高い技術力で、より軽く・薄く・短く・小さいモーターの製造を実現。  
既存の技術をIoTやサービスロボット、自動運転などの新分野にも展開。

**POINT** 世界的な需要拡大に  
万全の構えで挑む

■ 自動化・電動化に不可欠な「モーター」は、近年**構造的な需要拡大**を遂げています。同社はM&Aや大規模な設備投資によっていち早く態勢を整えるなど、**長期的な視点から経営を推進**しています。



車の電動化



ロボットの普及



農業・物流の省人化

【モーター需要の主な牽引役】

### 【株価\*とEPS\*\*(1株当たり利益)の推移】



## エヌ・ティ・ティ・データ

業種: 情報・通信業 時価総額: 約1.5兆円

金融分野に強みを持つ、大手システムインテグレーター。  
高い技術とブランド力を背景に、政府や医療施設、一般企業などに  
AI、ビッグデータ、IoTなどの多様なサービスを提供している。

日本の産業界が抱える  
「効率化」問題をITの力で解決

■ **生産性の向上**が日本の命題とされる中、幅広い分野で**ITを活用した対策**が求められています。IoTや金融機関のデジタル化など、**堅調な国内需要**を背景に、同社の底堅い成長が期待されます。



ルーティン業務の  
自動化・効率化ツール



AIを用いた銀行  
融資審査業務



スマートフォン  
決済サービス

【同社が取り組むITサービスの例】

### 【株価\*とEPS\*\*(1株当たり利益)の推移】



各社IR資料や信頼できると判断したデータなどをもとに日興アセットマネジメントが作成

※時価総額は2018年2月末時点

上記は、情報提供を目的として、請求目論見書で開示している2017年7月末時点の当ファンドのマザーファンドの組入上位銘柄について、日興アセットマネジメントがまとめたものです。上記銘柄について、組入れを約束するものでも、売買を推奨するものでもありません。また、上記は過去のものおよび予想であり、記載銘柄の将来の価格の上昇や、運用成果などを約束するものではありません。

当資料は、投資者の皆様へ「ジャパン・ロボティクス株式ファンド(1年決算型)/(年2回決算型)」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。



過去の組入上位銘柄のご紹介

※写真およびイラストはイメージです。

**ミスミグループ本社**

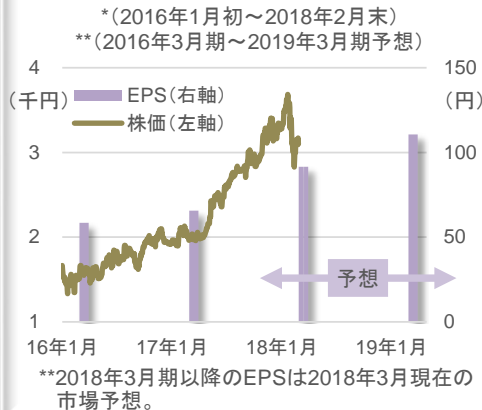
業種:卸売業 時価総額:約8,785億円

FA(工場の自動化)関連の機械部品や金型部品などを販売。メーカー事業と流通事業を併せ持つユニークな業態を活かし、“高品質・低コスト・確実短納品”のビジネスモデルの徹底で製造業の効率化を推進。

**POINT 蓄積された強みを更に進化させ、世界で成長を加速**

- 同社はFAラインで使用される多様な部品を短納期で供給する体制を確立し、国内で存在感を高めてきました。現在はアジアや欧米で生産拠点の拡充を進めるなど、**日本で培った成功モデルの海外展開を加速**させています。**自動化投資は世界規模で活発化**しており、同社はその恩恵が非常に大きいと考えられます。

**【株価\*とEPS\*\*(1株当たり利益)の推移】**



【同社の主要事業】

**メーカー事業**

FAラインに必要な、さまざまな部品を受注生産で対応すると共に、納期を標準化



**流通事業**

他社商品を含む、部品や消耗品などを取り扱うeコマース事業



同社IR資料や信頼できると判断したデータなどをもとに日興アセットマネジメントが作成

※時価総額は2018年2月末時点

**ジャパン・ロボティクス株式ファンド(1年決算型)  
Morningstar Award “Fund of the Year 2017”  
国内株式大型 部門 優秀ファンド賞**



- Morningstar Award “Fund of the Year 2017”は過去の情報に基づくものであり、将来のパフォーマンスを保証するものではありません。また、モーニングスターが信頼できると判断したデータにより評価しましたが、その正確性、完全性等について保証するものではありません。著作権等の知的所有権その他一切の権利はモーニングスター株式会社並びにMorningstar, Inc. に帰属し、許可なく複製、転載、引用することを禁じます。
- 当賞は国内追加型株式投資信託を選考対象として独自の定量分析、定性分析に基づき、2017年において各部門別に総合的に優秀であるとモーニングスターが判断したものです。国内株式大型 部門は、2017年12月末において当該部門に属するファンド623本の中から選考されました。

上記は、情報提供を目的として、請求目論見書で開示している2017年7月末時点の当ファンドのマザーファンドの組入上位銘柄について、日興アセットマネジメントがまとめたものです。上記銘柄について、組入れを約束するものでも、売買を推奨するものでもありません。また、上記は過去のものおよび予想であり、記載銘柄の将来の価格の上昇や、運用成果などを約束するものではありません。

当資料は、投資者の皆様へ「ジャパン・ロボティクス株式ファンド(1年決算型)/(年2回決算型)」へのご理解を高めたいことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

**(ご参考) 世界の投資家が気づき始めたロボティクスの可能性**



- ロボティクス需要の拡大を背景に、**世界の投資家がロボティクス関連市場への関心を高めています。**
- 同市場は**日本企業が大きな強みを持つ分野**です。グローバルに投資を行なうETFでも、**日本企業のウェイトは25～50%程度と高い水準**であり、FA関連や電子部品など、さまざまな分野の企業が多数組入れられています。2017年はこれらのETFが選好されたことが日本の関連銘柄を下支えしたとみられます。
- また、ETFの需給動向をみると、近年は株価の下落局面でも投資家の需要が後退しなかったことから、**ロボティクス関連市場に対する投資家の高い期待**が伺えます。

【代表的な世界のロボット関連ETF\*の時価総額推移】

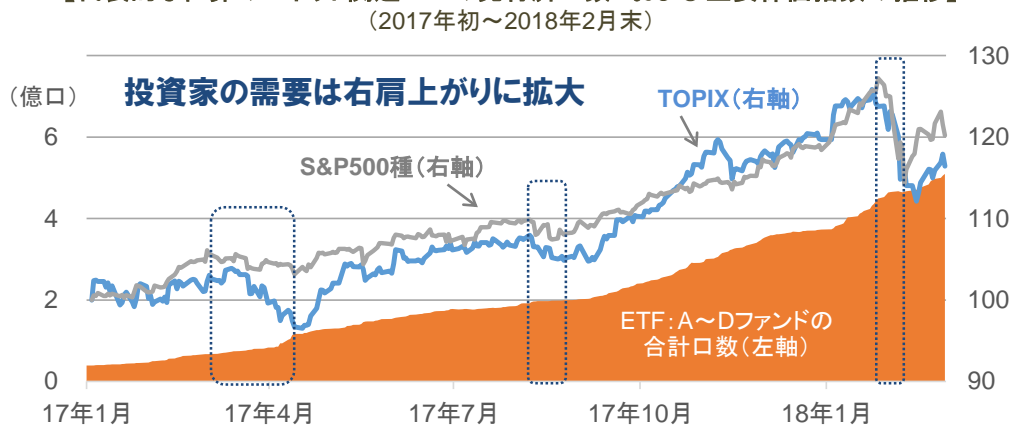


合計の時価総額は2017年初から約**20倍**に拡大しています。

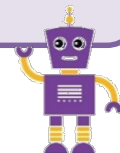


\* ロボットやAIなどの技術を持つ、世界の企業に投資を行なうETF。

【代表的な世界のロボット関連ETFの発行済口数\*\*および主要株価指数の推移】



市場が**軟調な局面**でも、ETFへの**資金流入**が続きました。



\*\*ETFにおける投資家の需要の強弱を示す。株式の値動きは投資家の需要を反映するが、ETFの値動きは指数に連動するため、需要は口数に表れる。

※上記指数は現地通貨ベースであり、グラフ起点を100として指数化しています。また、いずれも当ファンドのベンチマークではありません。信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成

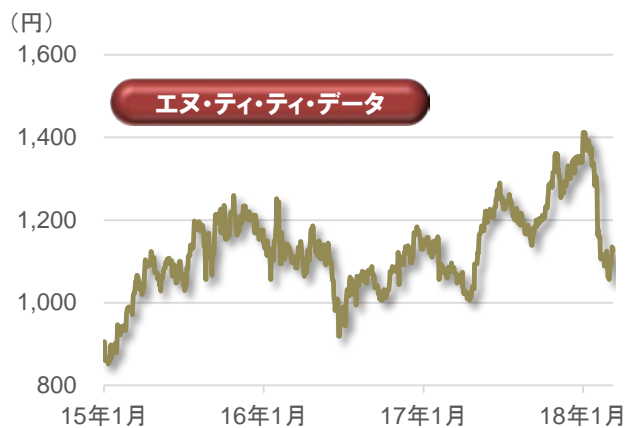
※上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

当資料は、投資者の皆様へ「ジャパン・ロボティクス株式ファンド(1年決算型)/(年2回決算型)」へのご理解を高めいただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。



(ご参考) 当資料でご紹介した銘柄の株価推移

(期間: 2015年1月初～2018年3月14日)



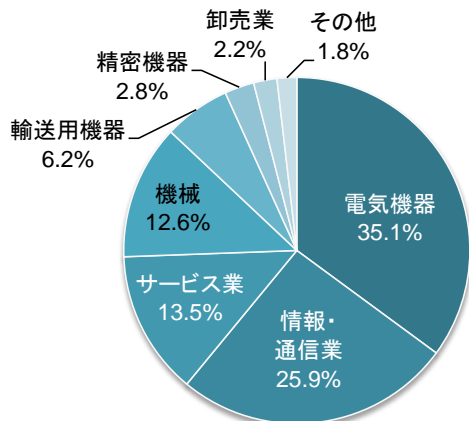
信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成

上記は、情報提供を目的として、請求目論見書で開示している2017年7月末時点の当ファンドのマザーファンドの組入上位銘柄から選出したものです。上記銘柄について、組入れを約束するものでも、売買を推奨するものでもありません。また、上記は過去のものであり、記載銘柄の将来の価格の上昇や、運用成果などを約束するものではありません。

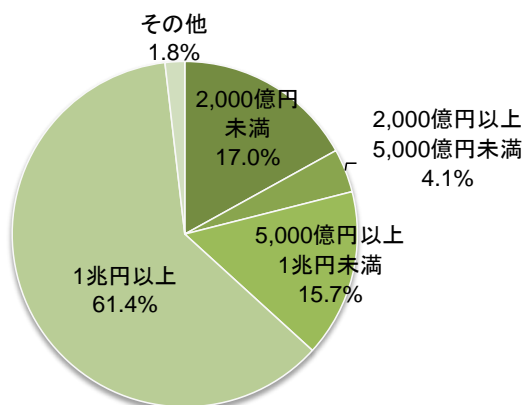
当資料は、投資者の皆様にご理解を深めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

## ポートフォリオの概要（2018年2月末現在）

業種別構成比



時価総額別構成比



※四捨五入の関係で合計が100%とならない場合があります。

組入上位10銘柄

(組入銘柄数 57銘柄)

	銘柄	業種	比率
1	ソニー	電気機器	3.64%
2	ダイフク	機械	3.55%
3	キーエンス	電気機器	3.51%
4	日本電産	電気機器	3.40%
5	リクルートホールディングス	サービス業	3.04%
6	SMC	機械	2.97%
7	ファナック	電気機器	2.80%
8	パナソニック	電気機器	2.77%
9	三菱電機	電気機器	2.76%
10	デンソー	輸送用機器	2.73%

※ 上記はマザーファンドの状況であり、比率は純資産総額比です。

※ 「組入上位10銘柄」は、個別銘柄の取引を推奨するものでも、将来の組入れを保証するものでもありません。

### ご参考: TOPIXと当ファンドのポートフォリオ指標

	ポートフォリオ	TOPIX
予想PER(倍)	22.3	14.8
EPS成長率(%)	13.8	8.9

※ 運用成果等について何ら約束するものではありません。

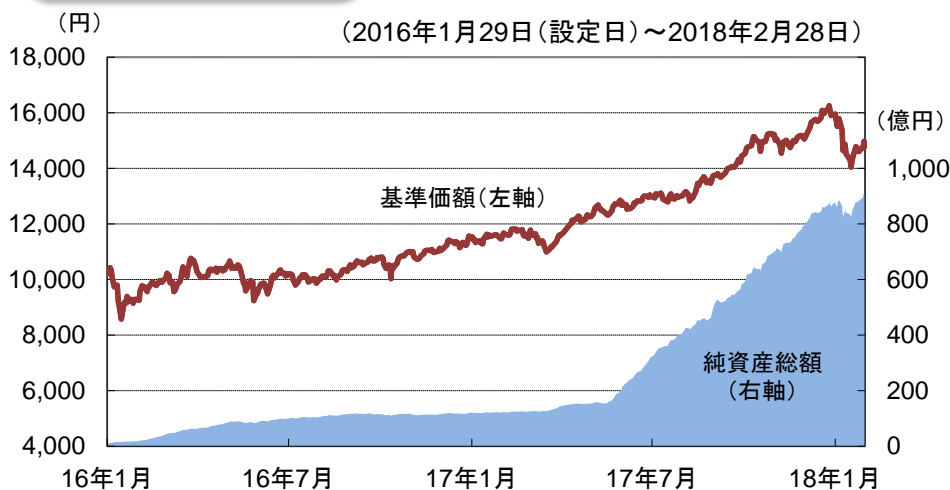
※ 東洋経済新報社の東洋経済業績予想データ(2018年度予想)などをもとに日興アセットマネジメントが算出したものです。

※上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。



## 基準価額と純資産総額の推移

### 1年決算型



(2018年2月28日現在)

基準価額

14,797 円

純資産総額

905.57 億円

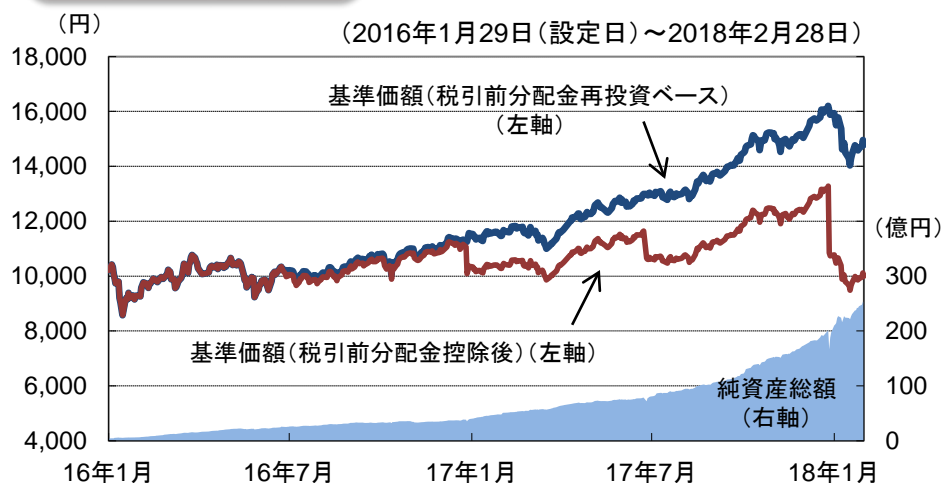
<分配金実績>  
(1万口当たり、税引前)

2017年1月	2018年1月
0円	0円

0円

0円

### 年2回決算型



(2018年2月28日現在)

基準価額

(税引前分配金再投資ベース)

14,780 円

基準価額

(税引前分配金控除後)

9,992 円

純資産総額

252.82 億円

<分配金実績> (1万口当たり、税引前)

2016年7月	2017年1月	2017年7月	2018年1月	設定来合計
150円	1,000円	1,000円	2,300円	4,450円

※ 基準価額は信託報酬(後述の「手数料等の概要」参照)控除後の1万口当たりの値です。

※ 税引前分配金再投資ベースとは、税引前分配金を再投資したもとして計算した理論上のものであることにご留意ください。

※ 分配金額は収益配分方針に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配金額を変更する場合や分配を行わない場合もあります。

※上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

当資料は、投資者の皆様へ「ジャパン・ロボティクス株式ファンド(1年決算型)/(年2回決算型)」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

## ファンドの特色

特色

1

日本の株式の中から、  
主にロボティクス関連企業の株式に投資を行ないます。

特色

2

銘柄選定は、  
日興アセットマネジメントが徹底した調査に基づいて行ないます。

特色

3

(1年決算型) 年1回、決算を行ないます。  
(年2回決算型) 年2回、決算を行ないます。基準価額水準が  
1万円(1万口当たり)を超えている場合には、  
分配対象額の範囲内で積極的に分配を行ないます。

※ 分配金額は収益分配方針に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配金額を変更する場合や分配を行なわない場合もあります。

※ 市況動向および資金動向などにより、上記のような運用が行なえない場合があります。

## 【お申込みに際しての留意事項】

### ● リスク情報

投資者の皆様は投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者(受益者)の皆様へ帰属します。

なお、当ファンドは預貯金とは異なります。

当ファンドは、主に株式を実質的な投資対象としますので、株式の価格の下落や、株式の発行体の財務状況や業績の悪化などの影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資する場合には、為替の変動により損失を被ることがあります。

主なリスクは以下の通りです。

【価格変動リスク】 【流動性リスク】 【信用リスク】 【為替変動リスク】

【有価証券の貸付などにおけるリスク】

※ 詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

※ 基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

### ● その他の留意事項

- 当資料は、投資者の皆様へ「ジャパン・ロボティクス株式ファンド(1年決算型)/(年2回決算型)」へのご理解を高めていただくことを目的として日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。
- 当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。
- 投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。
- 分配金は、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した運用収益を超えて支払われる場合があります。投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。
- 投資信託の運用による損益は、すべて受益者の皆様へ帰属します。当ファンドをお申込みの際には、投資信託説明書(交付目論見書)などを販売会社よりお渡します。内容を必ずご確認の上、お客様ご自身でご判断ください。

当資料は、投資者の皆様へ「ジャパン・ロボティクス株式ファンド(1年決算型)/(年2回決算型)」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。



## ● お申込メモ

商品分類	追加型投信／国内／株式
ご購入単位	購入単位につきましては、販売会社または委託会社の照会先にお問い合わせください。
ご購入価額	購入申込受付日の基準価額
信託期間	2026年1月26日まで(2016年1月29日設定)
決算日	【1年決算型】毎年1月24日(休業日の場合は翌営業日) 【年2回決算型】毎年1月24日、7月24日(休業日の場合は翌営業日)
ご換金代金のお支払い	原則として、換金請求受付日から起算して5営業日目からお支払いします。

## ● 手数料等の概要

お客様には、以下の費用をご負担いただきます。

<お申込時、ご換金時にご負担いただく費用>

購入時手数料	購入時手数料率(スイッチングの際の購入時手数料率を含みます。)は、 <u>3.24%(税抜3%)</u> を上限として販売会社が定める率とします。 ※ 分配金再投資コースの場合、収益分配金の再投資により取得する口数については、購入時手数料はかかりません。
換金手数料	ありません。
信託財産留保額	ありません。

※ 販売会社によっては、一部のファンドのみの取扱いとなる場合やスイッチングが行なえない場合があります。  
詳しくは販売会社にお問い合わせください。

<信託財産で間接的にご負担いただく(ファンドから支払われる)費用>

信託報酬	純資産総額に対して年率 <u>1.674%(税抜1.55%)</u> を乗じて得た額
その他費用	目論見書などの作成・交付および計理等の業務にかかる費用(業務委託する場合の委託費用を含みます。)、監査費用などについては、ファンドの日々の純資産総額に対して年率0.1%を乗じた額の信託期間を通じた合計を上限とする額が信託財産から支払われます。 組入有価証券の売買委託手数料、借入金の利息、立替金の利息および貸付有価証券関連報酬(有価証券の貸付を行なった場合は、信託財産の収益となる品賃料に0.54(税抜0.5)を乗じて得た額)などについては、その都度、信託財産から支払われます。 ※ 組入有価証券の売買委託手数料などは、運用状況などにより変動するものであり、事前に料率、上限額などを示すことはできません。

※ 当ファンドの手数料などの合計額については、投資者の皆様がファンドを保有される期間などに応じて異なりますので、表示することができません。

※ 詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

● 委託会社、その他関係法人

委託会社	日興アセットマネジメント株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第368号 加入協会:一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、日本証券業協会
受託会社	三井住友信託銀行株式会社
販売会社	販売会社については下記にお問い合わせください。 日興アセットマネジメント株式会社 [ホームページ]http://www.nikkoam.com/ [コールセンター]0120-25-1404(午前9時~午後5時。土、日、祝・休日は除く。)

● 投資信託説明書(交付目論見書)のご請求・お申込みは

ジャパン・ロボティクス株式ファンド(1年決算型)

金融商品取引業者等の名称	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人 日本投資顧問業協会	一般社団法人 金融先物取引業協会	一般社団法人第二種 金融商品取引業協会
岩井コスモ証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第15号	○	○	
エース証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第6号	○		
SMBC日興証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第2251号	○	○	○
株式会社SBI証券	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第44号	○	○	○
岡三オンライン証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第52号	○	○	
岡地証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第5号	○		
香川証券株式会社	金融商品取引業者	四国財務局長(金商)第3号	○		
カブドットコム証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第61号	○	○	
極東証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第65号	○		○
ぐんぎん証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第2938号	○		
株式会社群馬銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第46号	○	○	
株式会社証券ジャパン	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第170号	○		
株式会社荘内銀行	登録金融機関	東北財務局長(登金)第6号	○		
株式会社第三銀行	登録金融機関	東海財務局長(登金)第16号	○		
第四証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第128号	○		
高木証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第20号	○		
株式会社南都銀行	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第15号	○		
株式会社西日本シティ銀行	登録金融機関	福岡財務支局長(登金)第6号	○	○	
西日本シティIT証券株式会社	金融商品取引業者	福岡財務支局長(金商)第75号	○		
浜銀IT証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第1977号	○		
フィデリティ証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第152号	○		
株式会社北都銀行	登録金融機関	東北財務局長(登金)第10号	○		
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第165号	○	○	
三井住友信託銀行株式会社	登録金融機関	関東財務局長(登金)第649号	○	○	
株式会社山梨中央銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第41号	○		
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第195号	○	○	○
ワイエム証券株式会社	金融商品取引業者	中国財務局長(金商)第8号	○		

ジャパン・ロボティクス株式ファンド(年2回決算型)

金融商品取引業者等の名称	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人 日本投資顧問業協会	一般社団法人 金融先物取引業協会	一般社団法人第二種 金融商品取引業協会
岩井コスモ証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第15号	○	○	
エース証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第6号	○		
SMBC日興証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第2251号	○	○	○
株式会社SBI証券	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第44号	○	○	○
株式会社大分銀行	登録金融機関	九州財務局長(登金)第1号	○		
岡三オンライン証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第52号	○	○	
岡地証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第5号	○		
株式会社神奈川銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第55号	○		
カブドットコム証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第61号	○	○	
株式会社高知銀行	登録金融機関	四国財務局長(登金)第8号	○		
株式会社証券ジャパン	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第170号	○		
株式会社第三銀行	登録金融機関	東海財務局長(登金)第16号	○		
第四証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第128号	○		
高木証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第20号	○		
株式会社南都銀行	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第15号	○		
株式会社西日本シティ銀行	登録金融機関	福岡財務支局長(登金)第6号	○	○	
西日本シティIT証券株式会社	金融商品取引業者	福岡財務支局長(金商)第75号	○		
浜銀IT証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第1977号	○		
フィデリティ証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第152号	○		
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第165号	○	○	
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第195号	○	○	○
ワイエム証券株式会社	金融商品取引業者	中国財務局長(金商)第8号	○		

(資料作成日現在、50音順)

当資料は、投資者の皆様にご理解を高めることを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。